

公認スキーパトロール 合格者(44 期)

吉田 誠 (自衛隊スキークラブ)
吉田 みさ子(松尾村スキー協会)
宇都宮 邦昭(花巻市スキー協会)

公パト検定会を見学して 受験者の少なさボーダーの多さ

一昨年のパトロール検定会、岩手県会場(雫石スキー場)では、お手伝いとして参加しましたが、検定内容をゆっくり見学することは出来ませんでした。今年は、地元鉛温泉スキー場からの受験者がいたの、前会長の千葉氏と一緒に一路福島県あだたら高原スキー場に向かいました。検定会場に着いてまず驚いたことは、ボーダーの多いことと公パト受験者の少ないことです。リフトに乗るために並ぶ時など、何と肩身の狭い思いでした。

私が受験した頃は、一〇〇名を越すことが当たり前で、田舎者の私には都会スキーヤーの自慢話、雪国スキーヤーの技術の高さと、ただただ驚くばかりでした。スキーヤーの減少、時代の流れ(スノーボード人気)スキー場の企業化等、原因は数多くあると思いますが改めて寂しい思いです。

同日開催で研修会
花巻市鉛温泉スキー場
木村 博(二四期)

県内各スキー場ではパトロールの専従がほとんどで、隊員のレベルが高く集客の安全が確保されております。しかし、スノーボーダーの増加で負傷部位の全身化と重傷者が増加しており、高度な知識と技術が要求されております。同日開催されたSAJパトロール研修会も参加者が少なく寂しい限りですが、今年の目玉はAEDの取り扱いでした。皆様もご承知の通り、平成十六年七月から非医療従事者による自動体外式除細動器(AED)の使用が認められ、今後スキー場への設置が必然的に求められ、有資格者はAEDの取り扱いが必要となりますので機会を捕らえて精通を望みます。

同日開催で研修会

花巻市鉛温泉スキー場

木村 博(二四期)

PATO

岩手

協議会

No35号

事務局

〒020-0015

盛岡市本町通三丁目

11-50-707

日本スキーパトロール協議会

岩手県支部

<http://iwatepator>

en.tripod.co.jp/

理事会開催

支部総会決定

四月十六日ふれあいランドで県支部の理事会を開催し、県支部総会を、六月四日胆沢郡衣川村「衣川荘」で十五時より開催、今回は、抽選でTシャツ及びポロシャツが当たります。



総会終了後、取扱い等の紹介をします。多くの参加を願います。
抽選でTシャツが当たる

パトロール受験において

八幡平スキー学校

吉田 誠・みさ子(四四期)



まず始めに、パトロールとしての経験も知識も無い私たちに、温かくご指導をして下さった皆様に、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

私たちが八幡平スキー学校に所属して十年、準指、正指を二人揃って取得させて頂きました。この十年で、八幡平スキー場は大きく変わり、私たちのような普通のスキー板を使用している人、安全で楽しいスキーが出来るようになり、スキー愛好者が、安全で楽しくスキーが行えるよう、お手伝いできたこと幸いです。

私たちがスキー学校の受講生に、茶臼岳などのオフピステをガイドすることもありますが、その際、皆様からたくさん教えて頂いたことをしっかりと自分のものとして、学校スタッフへの安全指導の普及活動を行い、八幡平スキーパトロール隊との密接な連携を取り、県内外から来るスノーボード愛好者が、安全で楽しくスキーが行えるよう、お手伝いできたこと幸いです。

スキーなどで、コース外を滑走して怪我をしたり、遭難する事故が倍増しました。そのような現場に何度も遭遇するうちに、私たちも傷害・安全対策の必要性を感じ、公パト受験を決意しました。試験までは長く苦しい闘いでありました。養成講習会での出来の悪さの反省から、二人の日課である晩酌を我慢して、ロープ・三角巾及び学科を懸命にやりました。特に三角巾は、お互いを練習相手にすると、すぐに喧嘩になるので、職場の人や親に手伝ってもらい特訓しました。そのような中、八幡平で起こった雪崩事故への遭遇。自然の前では自分たちが何も出来ないという大きな失望感から、受験を止めようかと思ったこともありましたが。その時は、二人でとことん話し合っ、合格への意欲を確かめ合っ、受験し、そして合格することができました。